

やまびこ館特別展

大名 池田家のひろがり

～信長・秀吉そして徳川の時代へ～

7月20日～9月2日

第1部「戦国乱世の池田家」、第2部「池田家一族のすがた」で構成しています。今回は第1部についてご紹介します。

第1部では、戦国時代の末期、池田家が織田信長・羽柴（豊臣）秀吉に仕えて各地を転戦していた時代から関ヶ原の戦いまでを扱います。池田家は天正12年（1584）の小牧長久手の戦い、慶長5年（1600）の関ヶ原の戦いを経て江戸時代の大名として盤石の地位を固めました。その背後には池田輝政の祖母養徳院（織田信長の乳母）や輝政の妻良正院（徳川家康の娘）の存在があることも見逃せません。小牧長久手の戦いでは池田恒興（輝政の父）と池田元助（輝政の兄）が戦死しますが、子・孫を一度に亡くした養徳院を一心に慰めたのは羽柴秀吉でした。今回は、養徳院に宛てられた秀吉直筆の手紙や合戦のようすを描いた小牧長久手合戦図屏風、池田恒興の遺品を展示します。また、戦国時代の岐阜城下において、織田信長が楽市楽座の政策を行ったことは良く知られていますが、信長亡き後、岐阜城主になった池田家も楽市を継承しています。現在、国の重要文化財に指定されている「楽市楽座制札」は4点ありますが、2点は信長が定めたもの、残り2点は天正11年に兄池田元助が定めたものと、翌年に定めた弟池田輝政のものなどが伝えられて



良正院木像（京都市良正院蔵）

います。

また、このたび池田輝政と継室に迎えられた良正院の肖像画を一對にして全国ではじめて展示するほか（良正院の肖像画は8月17日まで）、良正院の木像もあわせてご覧いただくことができます。そのほか関ヶ原の戦いを描いた「関ヶ原合戦図屏風」や、合戦最中に徳川家康から池田輝政・長吉らに宛てられた手紙も展示します。ぜひ、この機会にご覧ください。次回7月15日号では第2部を紹介します。

次のみなさんは常設展示観覧料が無料です

小・中学生 / 夏休み期間中

小・中・高校生 / 土・日曜日・祝日

70歳以上の人（保険証など証明できるものが必要）

介護保険で「要支援・要介護1～5」と認定された人

特別展開催中の休館日 = 7月23日（月） 30日（月）

8月6日（月） 20日（月） 27日（月）

8月13日（月）は開館します。

問い合わせ先

やまびこ館（上町88・☎23-2140）

夏の交通安全 県民運動

7月10日 ～19日

青だって 油断大敵 みぎひだり

歩行者も自転車も交通ルールを守りましょう

道路の斜め横断は危険です

ライトは早めに点灯しましょう



夏は火災が多発します

鳥取市では、昨年7月・8月に25件の火災が発生しています。

その多くは刈った草などの焼却が原因です。また、花火の不始末が原因のものもありました。



花火の後始末はきちんと水をかけましょう

枯草などを焼くときは消火の準備をしましょう